

Shizuoka Wellbeing Summit 2026

静岡ウェルビーイング
サミット

ウエルビーイングな地域づくりを、みんなで描く1日。官民

2026
3/17(火) 9:50-17:40

オンライン配信 | 詳細はこちら



官 × **民** **幸せを、地域の力に変える。先進事例に学ぶ、ウェルビーイングの実装と未来。**

MEMORABLE & PROGRAM

9:50 - 10:00

Opening

10:00 - 10:40

地方創生の聖地・神山町の「行政職員」が語る
本音 民間パワーを武器にした
官民連携プロジェクト



徳島県神山町役場
まちづくり戦略課 課長
杉谷(とちたに) 学氏



イトモスマイルデジタル
ソリューションズ
株式会社 取締役
青木 孝之氏

10:50 - 11:30

Coming soon...

11:40 - 12:20

「補助金に頼らない」地方創生のひとつの答え
— 三豊市に学ぶ、自治体とも連携しながら、
住民と企業が自走する持続可能な街づくり —



プロジェクトデザイナー
株式会社 umari 代表
古田 秘馬氏

13:15 - 14:20

「幸福度日本一の静岡県」に向けて
— 静岡県が目指すウェルビーイングな社会 —



静岡県知事
鈴木 康友氏



一般社団法人
スマートシティ・
インスティテュート
代表理事
南雲 亘彦氏

14:30 - 15:10

シニアには「役割」を、
家族には「安心」を。
— デジタルが繋ぐ、生涯現役、
ポジティブヘルスと、
ワーキングケアラー対策の最前線 —



MIKAWAYA21
株式会社
代表取締役社長
青木 慶哉氏



株式会社ジーバー
代表取締役社長
永野 健太氏



株式会社静岡新聞社
CDXO/チーフデジタル
トランスフォーマー
オフィサー
平川 健司氏

15:20 - 16:00

「バレーボールで町を変える」一人の熱狂を、
オガールの町はどう支えたか？
～企業版ふるさと納税を呼び込む、
共創プロジェクトの舞台裏～



岩手県紫波町
企画総務部
企画課長 兼
地域づくり課長
森川 高博氏



岡崎建設株式会社 代表取締役
株式会社岩手バレーボール
コミッション 代表取締役
株式会社オガール 専務取締役
岡崎 希裕氏

16:10 - 16:50

「維持」から「創出」へ。岐阜県関市に学ぶ、
地域住民と創る『共助交通』の持続可能なカタチ



岐阜県関市
基盤整備部
都市計画課
公共交通担当
篠田 賢人氏



ほらど未来
まちづくり委員会
会長
後藤 信幸氏

17:00 - 17:40

労働力不足を『関係人口』という資産へ変える
— 農業現場と企業人材のウェルビーイング共創モデル



和歌山県
みなべ町役場
うめ課
副課長
木田 勝紀氏



一般社団法人
日本ウェルビーイング
推進協議会
代表理事
島田 由香氏

●参加無料 ●事前申し込み ●入退場可

運営主体 / 静岡新聞社・静岡放送

後援 / 静岡県、静岡県ウェルビーイング研究会



SHIZUOKA Business Compass

by 静岡新聞 SBS

株式会社静岡新聞社 メディアデザイン室

静岡市駿河区登呂 3-1-1 e-mail: info@bc.at-s.com

今すぐ
申し込み



予算がない 前例がない をどう超えた？ 官民連携の秘訣とは



徳島県神山町役場
まちづくり戦略課 課長
榎谷(とちたに) 学氏

10:00-10:40 地方創生の聖地・神山町の 「行政職員」が語る本音 民間パワーを武器にした 官民連携プロジェクト

サテライトオフィス誘致で知られる徳島県神山町において、行政組織は地域課題とどう向き合っているのか？高齢者の生活を支える「地域アプリ」開発の現場から、行政職員ならではの苦労と工夫、そして民間企業と対等なパートナーシップを築くための秘訣を公開。タクシー配車から懐かしの映像配信まで、高齢者に愛されるDXの仕掛けとは？明日からの実務に生きるヒントをお届けします。



イツモスマイル
デジタルソリューションズ
株式会社 取締役
青木 孝之氏

自治体紹介

神山町は、徳島県東部に位置する面積173平方キロ、人口約4,600人の自然豊かな中山間地域である。住民主導の地域づくりを起点にサテライトオフィスが生まれ、3年前には私立高等専門学校「神山まるごと高専」が開校した。1学年40人の若者が移住し全寮制で暮らす一方、高齢化率は50%を超え、人口減少という課題を抱えている。町は社会動態を年間12人増とする目標を掲げ、将来人口3,000人を下回らない持続可能な地域モデルの構築に挑戦している。

スポーツが地域を豊かにする！ オガールプロジェクトから学ぶ



岩手県紫波町 企画総務部
企画課長 兼 地域づくり課長
森川 高博氏

15:20-16:00 「バレーボールで町を変える」 一人の熱狂を、 オガールの町はどう支えたか？

～企業版ふるさと納税を呼び込む、共創プロジェクトの舞台裏～

「行政主導」だけが地方創生ではない。公民連携の聖地「オガール」を有する岩手県紫波町の新たな挑戦は、一人の民間人の「バレーボールで故郷を元気にしたい」という強烈な想いから始まりました。なぜ紫波町は、個人の情熱を町のプロジェクトへと昇華させ、「企業版ふるさと納税」による多額の支援を集めることができたのか？バレーボールを住民の「ウェルビーイング」の手段と捉え、オガールで培った公民連携の精神を武器に、制度設計や地域合意で「黒子」として伴走した行政職員の仕事術と、官民連携のドラマに迫ります。

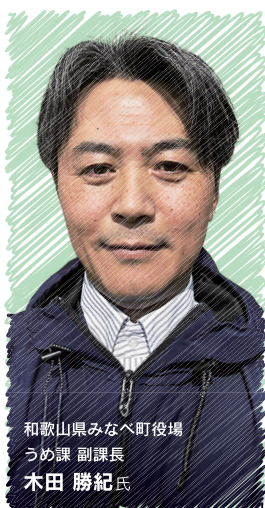


岡崎建設株式会社 代表取締役 /
株式会社岩手バレーボール /
コミッション 代表取締役 /
株式会社オガール 専務取締役
岡崎 希裕氏

自治体紹介

紫波町は岩手県のほぼ中央、盛岡市と花巻市の間に位置する、人口約3万2千人の町です。北上川と奥羽山脈に囲まれ、全国有数の産地であるもち米をはじめ、りんごやぶどうなど果樹栽培が盛んな農業地域です。また、南部杜氏発祥の地としても知られ、町内各所で酒造りが盛んに行われています。平成19年から公民連携によるまちづくりを推進しており、公民連携の手法を用いた「オガールプロジェクト」は地方創生の先進事例として全国的に高く評価されています。

縦割り行政が、農家と民間をどう巻き込んだ!? 労働力不足を『持続可能な資産』に!



和歌山県みなべ町役場
うめ課 副課長
木田 勝紀氏

17:00-17:40 労働力不足を『関係人口』 という資産へ変える — 農業現場と企業人材の ウェルビーイング共創モデル

深刻な農業の人手不足を、企業の研修需要と繋げ、2年間で約3,200万円の経済効果を生んだ和歌山県みなべ町。本セミナーでは、元ユニリーバ島田由香氏と町担当者が登壇。庁内の縦割り打破や農家、民間との合意形成、補助金に頼らない自走モデル構築の裏側を語ります。単なる交流で終わらず、「関係人口」を地域の労働力と明確な成果に変えるための、自治体職員必聴の実践論です。



一般社団法人
日本ウェルビーイング
推進協議会 代表理事
島田 由香氏

自治体紹介

「みなべ町」は和歌山県の中南部に位置する、人口約1万1千人のまちです。日本一の梅の産地として知られ、最高級ブランド「南高梅」誕生の地でもあります。平成27年には、400年以上続く独自の農法「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産に認定されました。養分に乏しい斜面で梅を栽培しつつ、周囲に新炭林（備長炭の原料）を残すことで水源を守り、土砂災害を防ぐこの仕組みは、自然と共生する持続可能な農業の象徴となっています。しかし近年、生産現場では少子高齢化による深刻な人手不足が課題となっています。この難局に対し、みなべ町では「梅収穫ワーケーション®」を導入しました。関係人口を単なる交流に留めず、地域の労働力と明確な経済成果へ変える官民連携の新たなモデルを構築し、伝統ある梅産業の次世代への継承に挑んでいます。



今すぐ
申し込む

